

3 荷物を受け取る

場面：電話での会話

状況：小倉忠夫が再配達依頼のコールセンターに電話をかける。斎藤が対応する。

登場人物：

A: (女性、コールセンタースタッフ (斎藤))

B: (男性、客 (小倉忠夫))

(ダイヤル音)

A: お電話ありがとうございます。シロヤギ急便、斎藤がお受けいたします。

B: あ、もしもしー。荷物の再配達をお願いしたくてお電話したんですが。

A: ありがとうございます。不在票の伝票番号をお願いできますか？

B: えーっと…伝票番号、伝票番号…。ああ、はい、241、015、326です。

A: はい、ありがとうございます。確認できました。小倉忠夫様宛のお荷物ですね。では再配達の希望日時をお伺いします。

B: えーと、今日の18時以降で、お願いできますか？

A: ああ、申し訳ございません、本日の配達はまだ枠が埋まっております…。明日であれば午前中の配達も可能です。

B: そうですか…。明日はちょっと…。んー、ああ、たとえば玄関脇に置いておいてもらうとか、そういうのできませんか？

A: 申し訳ございません。こちら、取り扱いに注意が必要なお品物ですので、置き配不可という指定がございまして…。あ、ちなみに、コンビニでの受け取りも可能ですが、いかがですか？ネットでお手続きいただけましたら、明日の13時以降、いつでもお受け取りいただけますが…。

B: うーん…。コンビニ…。コンビニ、ちょっと歩くんですよ。

A: あーそうなんですね。

B: 持って帰るのがねー。

A: そうですね…。

B: いやーまあでも明日ー……夜なら何とかなるか…。あー、夜なら、なんとか受け取れそうなので、普通に家におく送ってください。

A: かしこまりました。では明日の夜の便の配達で、承りました。

B: はい。

A: ご利用ありがとうございます。シロヤギ急便の斎藤が承りました。失礼いたします。

(スマホの電話を切る音)